

規格ニュース

JDA G 1046 (PN形ダクタイトイル鑄鉄管) 規格の制定

パイプ・イン・パイプ工法に用いる耐地盤変動用のダクタイトイル鑄鉄管として、3D kN (Dは呼び径mm) の離脱防止力を有するPN形管が開発されたことから、平成17年3月31日付けで制定した。

1. 制定の主な内容

- ①呼び径は、300～1500とし、継手の離脱防止力は、3D kNとした。
- ②直管は、推力の伝達方法によって、3種類を規定した。
- ③異形管は、受挿し短管、継ぎ輪及びフランジ付きT字管を規定した。
- ④規定内容は、PⅡ形管に準じた。

2. 規定内容の抜粋

1. 適用範囲 この規格は、呼び径300～1500PN形ダクタイトイル鑄鉄管(以下、直管(1)という。)及びPN

形ダクタイトイル鑄鉄異形管(以下、異形管(1)という。)について規定する。

注(1) 直管及び異形管を総称する場合は、管という。

3. 種類及び記号 管の種類及び記号は、管厚によって区分し、表1による。

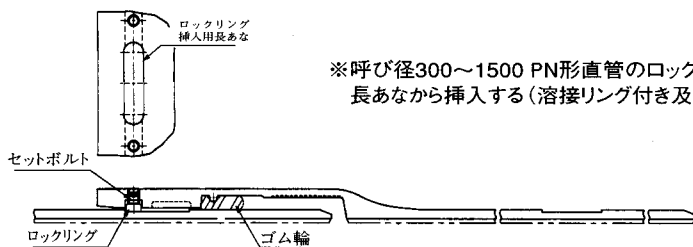
表1 種類及び記号

直管		異形管
種類	記号	記号
1種管	D1	DF
2種管	D2	
3種管	D3	
4種管	D4	

4. 接合形式及び呼び径 管の接合形式はPN形とし、呼び径は300～1500とする。

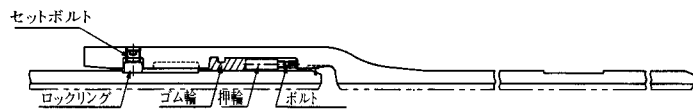
付表1 PN形ダクタイトイル鑄鉄管

呼び径300～600



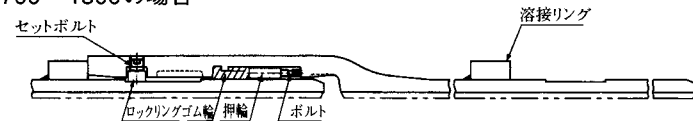
※呼び径300～1500 PN形直管のロックリングは、受口外面の挿入用長あなから挿入する(溶接リング付き及びフランジ・リップ付きも同様)。

呼び径700～1500



付表2 PN形ダクタイトイル鑄鉄管(溶接リング付き)

呼び径700～1500の場合



付表3 PN形ダクタイトイル鑄鉄管(フランジ・リップ付き)

呼び径700～1500の場合

